

一般社団法人日本熱帯医学会
2025 年度第 3 回理事会議事録

開催日時：2025 年 6 月 21 日（土）13：30～16：30

開催場所：長崎大学熱帯医学研究所 所長室（オンラインも同時開催）

出席理事：（現地出席）金子修，金子聰，河津信一郎，樋泉道子，濱野真二郎，安田二郎，山城哲
（オンライン出席）石上盛敏，氏家無限，小林潤，齊藤（小畑）麻理子，中村（内山）ふくみ，
橋爪真弘，Moi Meng Ling，吉田栄人，吉田レイミント [16 名]

出席監事：嘉糠洋陸，皆川昇 [2 名]

事務局員：福田緑，山下理加 [2 名]

（50 音訓・敬称略）

理事会構成員 16 名の内，16 名の理事および監事 2 名の出席を得て理事会が成立したことを確認し，理事長を議長として議事を進行した。

【報告事項】

(1) 庶務報告

- ・河津庶務理事より，R6.11.11～R7.5.31 までの総会員数として 724 名で 13 名増加したとの報告があった。
- ・次回の理事会から学会員全体に対する女性の割合と 40 歳以下の若手研究者の割合も報告に含めることにした。

(2) 編集報告

- ・橋爪編集委員長より，会誌（Tropical Medicine and Health 誌）の発行状況及び投稿状況に関して，以下の報告があった。
発行状況：2025 年 1 月～2025 年 5 月末現在の掲載論文数 81 編
投稿状況：2025 年 1 月～2025 年 5 月末現在までの投稿論文数が 226 編。
2025 年 12 月末までには 450～500 編になる見込み。

- ① 投稿数が増えた要因として，Science Citation Index (SCI)の収録対象誌となったことが考えられる。
- ② Impact Factor (IF) 2023 年の 3.6 から 2024 年は 3.5 となった。
- ③ 同分野のジャーナルランキングは 2023 年 3 位，2024 年 2 位と上位をキープできている。
- ④ 次年度の Article Processing Charge (APC)予算について日本国際保健医療学会と協議する予定。

(3) 会計報告

- ・齊藤（小畑）麻理子会計理事より，令和 7 年度中間報告があった。
今後 2-3 年の財政についての質問があった。

(4) 学会賞・相川正道賞・研究奨励賞・女性賞の報告

理事会に先行して開催された各賞選考委員会で、以下の受賞者が決定した。

- ・学 会 賞：吉田 レイミント 氏。
- ・相川正道賞：加藤 健太郎 氏。
- ・研究奨励賞：小林 大介 氏。
- ・女 性 賞：齋藤 玲子 氏。

(5) 令和7年度大会について

・第66回日本熱帯医学会大会の吉田レイミント大会長より、本年度の大会準備報告があった。

(6) 各委員会報告

・日本医学会：山城評議員より、日本医学会、日本医学会連合の定例および臨時評議員会に関する報告があった。

・用語委員会：中村（内山）ふくみ用語代委員より、ICD-11(2023年1月版)和訳作業に関する報告があった。

・ダイバーシティ&インクルージョン推進委員会：樋泉委員長より、以下の報告があった。

- ① 男女共同参画学協会連絡会 第23期定時総会・第1回運営委員会（2024年12月10日開催）に齊藤(小畑)麻理子委員が参加。
- ② 共同研修「性差を考慮した研究開発の推進」（2025年1月28日開催）に平林史子委員が参加。
- ③ 本委員会メンバー交代の報告。
- ④ 第66回日本熱帯医学会大会での企画枠の確保と日本医師会女性医師支援センターへ助成金申請予定。

・史資料委員会：市川委員長に代わり山城理事長より、以下の報告があった。
感染症アーカイブズの公開を順次進めていること。

・国際委員会：皆川委員長より、主な熱帯医学関係国際学術集会の今後の開催予定について、報告があった。

・広報・情報委員会：石上委員長より、以下の報告があった。

- ① 当学会ウェブサイトの熱帯医学アーカイブの拡充について。
- ② メーリングリストの運用について。
- ③ 理事選挙のオンライン化について。
- ④ 広報・情報委員会の新委員について。

(7) 学生部会：山城学生部会担当理事より、以下の報告があった。

- ① 2024年10月から2025年5月までの学生部会（J-Trops）の活動報告。
- ② 夏合宿企画

(8) 科学研究費補助金（研究成果公開促進費）「国際情報発信強化」:

有吉先生の代理で山城理事長より、以下の報告があった。また、次期科学研究費補助金に

も申請すべきとの意見があった。その際には、日本国際保健医療学会と共同で申請してはどうか、との意見もあった。

① 2024年度の実績報告書。

② 2025年度の執行計画。

(9) 山城理事長より、日本渡航医学会への申し入れ書を提出した、との報告があった。

【審議事項】

(10) 入会員と退会者の報告、学生部会（J-Trops）について。

新規入会者の承認、入退会者数の報告があった。

(11) 新功労会員の選考について。

神馬征峰氏、PILARITA N. TONGOL-RIVERA氏が、新功労会員として選考された。

(12) 2026年度大会長候補者について。

獨協医科大学埼玉医療センター・教授 春木宏介氏が、2026年度の合同大会の大会長に推薦することが承認された。

(13) 第65回大会収支報告について。

小林理事（第65回大会長）より、大会収支において余剰金が派生した旨説明があり、同額を一般会計に戻すことが承認された。

(14) その他

・合同大会での収支決算時のとりきめについて。

不足金・余剰金がでた場合、「学会からの助成金に応じて支払う・分配を受ける」方向で調整することになった。

・利益相反委員会（案）設置およびハラスメント防止委員会（案）の設置について。

① 利益相反委員会の設置が承認された。

② ハラスメント防止を含めたコンプライアンス委員会の設置が承認された。2委員会併設の意見も出された。

・ICTMM2032の日本での開催について、山城理事長より経緯が説明され、以下のことが承認された。

① ワーキンググループを立ち上げ、検討を開始する。

② 次回の秋の理事会・評議員会で審議をし、開催受け入れを希望するか否かを決定する。

・商標登録について：山城理事長より、本件に係る経緯が説明され、以下のことが承認された。

第41類、第44類での商標の登録を、長崎に事務所を構える弁理士事務所に依頼すること。

以上の議事を終え、16時30分に閉会した。上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

2025年6月21日

議 長 山城 哲 印

監 事 嘉糠 洋陸 印

監 事 皆川 昇 印